



子育ての

ココが聞きたい！

VOL. 5

たかぶ
なげごま
遊び集中...
しゅうちゅう...

みなさんは「伝承あそび」を経験したことがありますか？「伝承あそび」とは「投げゴマ」や「けん玉」「メンコ」など、子どもが昔から楽しんできた遊びの事を言います。昔ながらの遊びは、子どもの遊びの変化によって、今では遊ばれることが少なくなりました。

この遊びの変化が、近年子どもの運動能力に影響を与えています。30年前の子どもと比較すると、平均の身長、体重は増加しているにもかかわらず運動能力が低下しているのです。

転んだ時にうまく受け身が取れず大けがをしてしまうなど、生活面でも問題となっています。

「伝承あそび」のような、体の様々な感覚を使う遊びをする機会が少なくなったことで、遊びの中で自然に身につけていた、自分の体を上手に扱う能力が育ちにくくなっているのです。「伝承あそび」には自分の体を上手に扱い、運動能力の基礎を作るための要素が沢山含まれています。例えば、紐を巻き、投げるようにして回す「投げゴマ」は大人でも初体験の方にはなかなか回すことができません。コマに紐を巻きつけるのも一苦労です。難しいのです。しかし難しいからこそ、自分で考え工夫して、繰り返し遊んでいるうちに少しずつコツを得て、回せるようになっていきます。

コマを握り、自分の手で一巻き一巻き紐を巻きつけ、投げる。手に伝わる感触と、地面に擦れる音。コマが勢い良く回った時の五感に響く感動は、他には変え難いものがあります。

子どもが夢中になって遊ぶその過程で、手先の感覚や重心移動、ひねり運動などの複雑な動きを習得していき、心身を育ててくれるのです。

子どもたちが「伝承あそび」に興味を持つには、「憧れの対象」が必要なのです。ただ物をあたるだけでは使い方もわからずに終わってしまいます。コマを回す姿を見て「わー！」と驚き、子どもの心に「やってみたい、やってやる！」という火をつけることが大切です。あくまでも「遊び」であり、無理やりやらせるものではありません。家族や身近な大人と一緒に「伝承あそび」に挑戦し、「憧れの対象・ヒーロー」になりましょう！

保育士 保育コンシェルジュ 太幡 英輝

子育て支援センターだより（2月）

子育て支援センターは就学前のお子さんと保護者の方が気軽に参加できるサロンです。

1歳未満のお子さんでも大歓迎です！

- | | |
|--------------|---------|
| 7日（水）あそびの教室 | おはなし会 |
| 14日（水）のびのび広場 | 乳幼児栄養相談 |
| 21日（水）のびのび広場 | 記念製作 |
| 28日（水）のびのび広場 | ひな人形作り |

家でできるお子さんの発育を促す楽しい遊び方や、日ごろの生活内容相談など、子育て支援センター職員が親身になってお話しします。お気軽にお電話ください！

※時間は全日午前10時～11時30分です。

※利用時間は午前9時～午後4時です。

問合せ 子育て支援センター ☎82-0601

